

# 今後の進め方

---

# 実態調査で明らかとなった課題を踏まえた今後の検討の方向性

## ＜安全衛生経費が下請まで適切に支払われる施策＞

### チェックリスト

○これまでも、リーフレット「安全な建設工事のために適切な安全衛生経費の確保が必要です」(国交省・厚労省)等により、元請・下請が工事着手前に現場で必要となる安全衛生対策の内容、実施者、経費負担者を確認するよう促してきたところであるが、さらに充実すべき取組としてどのようなことが考えられるか。

(例えば、「業界と連携した業種毎のチェックリストの作成・普及」といった施策が有用ではないか)

### 積算方法

○安全衛生対策のための費用の算定方法(積算方法)については、特定の費用区分の総額に一定率をかける方式・積み上げ方式・両方併用方式を採用している企業がそれぞれ存在している実態、安全衛生対策のための費用が含まれている費用区分は、直接工事費、共通仮設費、現場管理費など多くの区分に跨がっている実態を踏まえると、本検討会として、統一的な積算方法を提示することの是非について議論が必要ではないか。

○積算方法に関する知識・ノウハウに乏しい企業を支援するため、別途、実態調査に協力いただいた企業(数社程度)に対してヒアリングを行い、安全衛生経費の積算基準についてベストプラクティスを収集・分析してはどうか。

# 実態調査で明らかとなった課題を踏まえた今後の検討の方向性

## ＜安全衛生経費が下請まで適切に支払われる施策＞

### 安全衛生経費の範囲

○本検討会における「安全衛生経費の範囲」の整理方針はいかにあるべきか。

(個々の建設工事現場ごとに必要となる安全衛生対策の内容や規模等が異なること、また、技術の進展等による変動も予想されることから、「安全衛生経費の範囲」については、具体的な整理をするのではなく、受発注者相互の認識のズレの解消や安全意識の共有を進めるのが現実的ではないか)

### 民間企業を含め、施策の効果をより波及させるための方策(広報等)

○民間企業を含め、施策を効果的に波及させるための方策としてどのようなものがあるか。

(例えば広報活動)

○安全衛生経費に関する発注者側の知識・ノウハウの向上や理解促進のために有効な施策として何が考えられるか。

### その他(一人親方、発注者への実態調査の必要性等)

○資料2で提示した実態調査結果を踏まえ、別途、一人親方や発注者を対象とした安全衛生経費に関する実態調査が必要か。

○調査が必要な場合、どのような対象範囲、実施時期、調査内容とすることが望ましいか。

# 今後の検討会の進め方について

## 第3回検討会までにいただいたご意見

- ・ 安全衛生経費の重要性
- ・ 安全衛生経費の範囲
- ・ 下請まで適切に支払われる施策の検討
- ・ その他（健康管理、実態調査、海外事例）

建設工事における安全衛生経費の実態調査（平成31年3月～令和元年5月）

今回

第4回

- 第3回検討会までにいただいたご意見
- 建設工事における安全衛生経費の実態調査結果（速報値）
- 実態調査結果を踏まえた課題の抽出、取組の方向性

第5回  
以降

- 下請まで適切に支払われる施策（案）
- とりまとめの方向性

令和元年末 とりまとめ

基本計画への反映検討

実態調査について引き続きとりまとめ  
必要に応じてヒアリング調査